

まちづくりの目標 3

活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまちづくり

(経済・雇用)

次に、まちづくりの目標 3「活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまちづくり」について申し上げます。

まず、工業・商業の振興と雇用環境の充実につきましては、地域経済と深い関わりを持つ住友各社との更なる連携深化に努めるほか、本市の地場産業であるものづくり企業の持続的発展に向け、新居浜市中小企業振興条例に基づく補助制度等により、経営基盤の強化に取り組みます。また、ものづくり企業の知名度向上や製造業のイメージアップを図るため、製造業イメージアップ事業やものづくり人材育成推進事業を実施し、ものづくり人材の確保と育成を図ってまいります。加えて、研究開発、技術開発への機運醸成と地域産業の高度化のため、技術及び製品開発を支援するほか、働き方改革やSDGsに取り組む企業を幅広く情報発信する、企業魅力発信事業を継続して実施いたします。

また、市内企業のIT利活用及び地域産業のDXを促進するため、新居浜市IoT推進ラボ実施事業を推進するとともに、起業を目指す人が集う場をつくり、起業に必要な知識やスキルの習得を支援してまいります。

企業誘致・留置及び立地の促進、市内企業の脱炭素化への取組につきましては、企業立地促進条例に基づく奨励金制度等を通じて、企業の立地や事業拡大、脱炭素化に向けた設備投資の促進を図ってまいります。

さらに、企業説明会に加え、インターンシップや外国人人材の確保への支援、新たな人材確保策などを通じ、産業を支える人材の確保に努めてまいります。

また、令和7年度は、中小企業振興条例及び企業立地促進条例の見直しの年となっておりますことから、時代のニーズに合った補助制度となるよう検討を進めてまいります。

次に、観光・物産の振興につきましては、本市固有の地域資源である別子銅山の近代化産業遺産群を中心に、その魅力や文化的価値の一体的かつ効果的な情報発信を進めるほか、新たなコンテンツやツアーの造成と販売などを進めることにより、学び、楽しむことができる観光地としての知名度向上に努め、観光客の増加に取り組んでまいります。

また、ふるさと納税返礼品等の特産品の開発に取り組むとともに、「大島白いも（七福芋）」などの新居浜固有資源のブランド化の推進と観光消費額の増加を図ってまいります。また、「仮称 にいはま版営業本部」を設置し、私自身のトップセールスと職員をはじめ本市にゆかりのある関係者による積極的な

情報発信・販路開拓に取り組んでまいります。

さらに、本年5月21日には、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）会場内において、本市の太鼓台3台が出場する予定であり、今後もこのような好機を捉え、新居浜太鼓祭りや別子銅山の歴史等を活用したプロモーション、本市への誘客に取り組んでまいります。

次に、**農業、林業、水産業の振興**のうち、農業につきましては、ため池の地震及び老朽化対策のほか、農業者の高齢化、担い手不足等を解決するため、新規就農者育成総合対策事業を活用し担い手の育成に努め、令和6年度に策定した地域計画に関する継続的な協議を進めてまいります。また、地域おこし協力隊の協力のもと、大島の白いも（七福芋）の作付け拡大により、地域ブランドの発展に取り組んでまいります。

林業の振興につきましては、「別子山地区森林整備計画」に基づき、作業道の開設と搬出間伐に取り組んでまいります。また、株式会社資生堂及び住友林業株式会社と三者協定を締結した「BAUM^{パウム}ひのきの森」については、育成を目標とした主伐・再造林を引き続き推進してまいります。また、有限会社別子木材センターについては、新たな市場開拓や重要顧客に対する営業活動など、経営の改善と安定化を図るため、継続して支援に努めてまいります。

次に、水産業の振興につきましては、長寿命化計画に基づく漁港施設の老朽化対策や就労環境の改善を図るとともに、漁業収益の向上や新たな漁業担い手の確保・育成、水産業資源の増殖等に向け、引き続き取り組んでまいります。